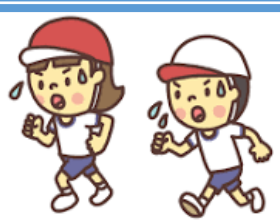
進んで取り組む
おともっ子

遠野市立小友小学校　校報第１４号
令和８年１０月７日(水)発行

☆教育目標☆
進んで学びよく考える子ども
明るく思いやりのある子ども
健康でねばり強い子ども



校内マラソン大会

９月２８日（月)、校内マラソン大会を行いました。

子ども達は、４月から業間マラソン等を行いながら体力をつけてきました。試走のときよりもタイムを縮めることを目標にしたり、歴代記録を塗り替えようと努力したりする姿が見られました。

出場した子ども達は、全員が完走。誰一人弱音を吐くことなく、歩くことなくゴールした姿は、とても素敵で最後まで一生懸命に走った子ども達に胸が熱くなりました。

また、ゴールを目指して走っている友達に伴走しながら励ます姿も見られ、友情の絆を感じました。

高学年のゴールを待たずして降り出した雨のため、閉会式は体育館で行いましたが走り終えた子ども達はみんないい表情でした。

応援に来校くださいましたみなさまの温かい励ましに背中を押され走りぬいた子ども達でした。ありがとうございました。







稲刈り

９月２９日（火)、勘六縁さんの田んぼで稲刈り作業を行いました。今回は機械で刈り取っていただいていた稲をハセに掛ける仕事を行いました。ハセづくりも体験させていただき、その後、稲の掛け方の説明を聞いてから作業に取り掛かりました。稲を掛ける場所によって一束を７対３に分けたり、５対５に分けたりしながらの作業でした。初めのうちは難しそうでしたが、慣れてくると手際よく作業していました。

１時間ほどの作業でハセ掛けは終わりました。仕上げは落穂拾い。一粒たりとも無駄にしないように拾い集めました。天気が続けば２週間ほどで乾燥するということでした。





縦割り班会議

１０月となり、１年の折り返しです。　子ども達の活動も後期の体制になりました。

２日には、新しい縦割り班ごとに集まり、班のメンバーを確認したり、めあてを決めたりしました。早速新体制でのお掃除がスタートし、高学年は低学年をリードしながらお掃除を進めている姿が見られました。縦割りは、仕事内容を教えたり教えられたりの活動を通しながらコミュニケーション力を育成したり、リーダーとしての大事な力を育てたり…一人ひとりの大事な学びにつながっています。

読書ボランティアのみなさんによる「小友の話しっこ聞きたいな」

５日（月）の朝活動の時間帯に、読書ボランティアのみなさんによる「小友の話しっこ」の朗読を行っていただきました。

この日に合わせ、ずいぶん前から日程を調整してくださったり、練習をしてくださったりと準備を進めていただきました。今回は、「１１月の本校の学習発表会前に、少しでも小友の話しっこ披露のイメージをもたせたい。」ということで実施してくださいました。

お話は、「おせんヶふちのめなしりゅう」でした。全校が図書室に集まり、食い入るようにお話を聞いていました。リコーダーによる演奏あり、効果音ありと、聞いている私たちもお話の世界に引き込まれました。

小友には、たくさんの昔話が残されていることも話してくださいました。

学習発表会に向けての練習もどんどん本格的になる中、イメージを膨らませたり、小友の昔話の数の多さを教えていただいたりと、大変学ばせていただきました。読書ボランティアのみなさんに感謝いたします。ありがとうございました。









☆この校報は各自治会のご協力を得て地域の皆様に配布させていただいております。